

1 主題名 家族で協力しあうこと (家族愛、家庭生活の充実)

2 ねらい

家族が自分のために働いてくれることは当たり前ではないことに気付き、家族に対する感謝の心を持ち、家族の一員として自分に何ができるか考え、積極的に関わっていく。

(資料名「お母さんのせいきゅうしょ」：日本文教出版 生きる力3)

3 主題設定の理由

○ 本主題は、新学習指導要領道徳科の内容0「主として集団や社会との関わりに関すること」第3学年及び4学年「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること」を主なねらいとしている。

私たちは自分を取り巻く人々と常に関わり合いながら生活しており、特に家族とは強いつながりがある。

この期の子どもたちは、主に家族の愛によって支えられ育てられている。しかし、それを当たり前だと思い、感謝したり、自身も家族に貢献したりしようという気持ちが不足しているという傾向も見られる。そこで、このような内容を学習することは、家族に感謝し、自身も家族に協力しながらよりよい家庭生活を送ろうとする心情を育む上で意義がある。

○ 本学級の児童33名は、日頃からクラスで教師の手伝いを喜んでしてくれる。また、友達が困っているときに声をかけ、一緒にしてくれるなどの思いやりがある。

しかし、先日学級の児童を対象に行ったアンケート結果を見ると、お手伝いをいつもしている児童はクラスの人数の約3分の1であった。3分の2の児童は頼まれないとお手伝いをしない、もしくはほとんどしていないと回答しており、半分以上の児童が家事に参加することに消極的であることが分かった。お手伝いをしたくない理由としては、「テレビやゲームなど他にやりたいことがあったり、宿題等他にやらないといけなかったりすることがあったりするから。」「おなががすいていたり機嫌が悪かったり疲れていたりと気分が優れていないから。」などが挙げられていた。

○ そこで、読み物資料「お母さんのせいきゅうしょ」を用いて学習を進める。本教材は、お手伝いや習い事を頑張っただいすけくんが、それに対する請求書をお母さんに渡したところ、お母さんからそのお金とともにお母さんがだいすけくんのためにしてあげたことに対して0円を請求する請求書をわたされる。そしてお手伝いに対し対価を要求していただいただいすけくんが、お母さんからの無償の愛情をうけて育てられてきたことに気付くという内容である。

導入では、本主題に関わる実態調査の結果をもとに、自身が家族から多くのことをしてもらっていることや家庭の仕事はたくさんあることに気付かせ、自分たちが家族とどう関わっているかを振り返り、自分の問題として意識できるようにする。

展開前段では、資料を前半と後半に分けて聞くことで、前半と後半それぞれの主人公の気持ちに共感できるようにする。だいすけくんの請求書とお母さんの請求書を音読し2つの請求書の違いを考えさせることで、お母さんの思いに気付くことができるようにする。お母さんの請求書を読んでだいすけくんが気付いたことを考えさせる場面では、まずクラスの友達と話し合うことで視点を増やし、新たな側面から考えることができるようにする。

展開後段では、前段を受けて家族とどう関わっていくか考えることで、家族に感謝し、自分から積極的に家事に参加しようとする心情を深めるようにする。

終末では、導入で触れた児童が行っているお手伝いを振り返り、今までやっていなかった家事も積極的に関わっていこうという意欲を高めさせたい。

4 本時のねらい

○ 自身が家族から愛されていることに気付き、自身も家族のために協力しようという思いを育てる。

【発表・道徳ノート】

段 階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料・準備
導 入 5 分	<p>1 自分が家族とどう関わっているか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族がいて良かったなと思うときはどんな時ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や身の回りの世話をしてくれるとき ・ 好きなものを買ってくれるとき ・ みんなでお出かけするとき ◎ 家事やお手伝いを普段から行っているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような家事をしているか。 <p>2 本時の学習内容について知る。</p> <p>○学習のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家族とよりよく生活していくために、大切なことについて考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭の仕事の量や大変さを実感し、家族に自身の身の回りのことをしてもらっているばかりであることに問題意識がもてるようにする。 ○ 児童が行っているお手伝いをイラストとして掲示し、他の人がどんなお手伝いをしているのか知り、学習の見通しをもつ。 	<p>アンケート結果</p> <p>家事のイラスト</p> <p>挿絵</p>
展 開 前 段 25 分	<p>3 資料を聞き、登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料についての説明 ○ 請求書を書いただいすけくんはどんな気持ちだったのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お手伝いをしたら対価がほしい。 ・ お金をもらえたらうれしい。 ・ 何を買おうかな。 ○ お母さんの請求書はどうしてタダなのかな。 <ul style="list-style-type: none"> ・ だいすけくんが元気に育ってくればお金はいらないから。 ・ お母さんはだいすけくんを愛しているから。 ◎ だいすけくんはお母さんの請求書を読んでどんなことに気付いたのでしょ。 ・ お母さんはぼくのためにこんなに働いてくれていた。 ・ お母さんは一度もお礼が欲しいなんて言わなかった。 ・ 自分も家族の一員なのだなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先に主な登場人物を知り、登場人物の気持ちに共感しながら読むことができるようにする。 ○ お母さんはだいすけくんを愛しているからお金よりもだいすけくんの幸せのために働いていることに気付くことができるようにする。 ○ だいすけくんが目には涙をためたことを再度確認し、お母さんの請求書がだいすけくんの心を動かしたことを児童が理解できるようにする。 ○ ペアで意見を交流し考えを深めてから、道徳ノートに考えを書くことで自分と向き合うことができるようにする。 	<p>挿絵</p>
展 開 後 段 10 分	<p>4 学習のめあてに対し、自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族の一員として自分にできることは何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の役に立つお手伝いをしたい。 ・ 家族に面倒をかけないように自分のことは自分でやる。 ・ 何かしてもらったら「ありがとう」をちゃんと伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育ててもらっていることに感謝し、家族の一員として自分も家族に協力していくことの大切さに気付かせたい。 ○ 学習のめあてに対する答えをノートに記入し、自分なりの考えをもつことができるようにする。 ★ 自身が家族から愛されていること 	

	<ul style="list-style-type: none"> 家族みんなに優しくする。 	に気づき、自身も家族のために協力しようという思いを高めている。 【発表・道徳ノート】	
終末5分	5 振り返りを行う。 ○ 本時学習を振り返る。		

6 板書計画

○ 家族に感謝を伝えたい。

- ・ 家族の一員として自分、伝いをしたい。
- ・ 自分も家族の一員なんだな。
- ・ お母さんはお金が欲しいなんて言わなかったな。
- ・ だいすけくんは元気な顔で育ってほしい。

○ だいすけくんはどんなことに気づいたのでしょうか。

場面絵 4

場面絵 3

場面絵 2

場面絵 1

・ だいすけくんが元気に育ってほしい。

・ だいすけ君を愛している。

お母さんの請求書

だいすけくんの請求書

・ 対価をもらうのは当然だ。

・ 何を貰おうかな。

アンケート結果

手イラスト

お伝イスト

めめて 家族と冬よりもっと長く生活していくために大切なことについて考えよう。

- ・ お出掛けに連れて行ってくれるとき
- ・ 好きなものを買ってくれたとき
- ・ 食事や身の回りのお世話をしてくれたとき

○ 家族がかいてよかったと思うのはどんな時ですか。

顔

顔